

提出された意見等及びそれに対する市の考え方

「第5次えびの市総合計画（案）」について、ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

お寄せいただいたご意見等の内容及びそれに対する市の考え方を掲載しています。

- 1 案件名 第5次えびの市総合計画
- 2 募集期間 平成24年1月20日～平成24年2月18日
- 3 意見等提出件数 1件
- 4 意見等の内容と市の考え方

意見等の内容	市の考え方
<p>基本構想については、良くまとめられています。将来都市像の『大自然と人々が融合し、「新たな力」が躍動するまちえびの』－南九州の交流拠点都市を目指して－も分かりやすくしてしっかりした目標だと思えます。</p> <p>それらの中で、大事な市民の医療環境の整備等に関する記述が具体的に示されていないことが危惧されます。基本構想では第2章施策の大綱（案）の中に、「誰もが元気”健康のまちづくり”」の項目に若干の記述がありますが、基本計画の中では全くその部分が書かれていません。</p> <p>①超高齢社会へと向かうこの時期に、高齢者はもちろんのこと子供たち、働く年代層にとっても、万一の時に「安心して治療を受けられる体制」（ハード・ソフト両面）の整備充実が極めて大切な視点だと考えられますが、その部分が全く見えないのはどうしたことでしょうか。</p>	<p>少子高齢化の進展や生活環境の変化に伴い、小児救急医療や高齢者医療の需要が増大し、地域医療に対するニーズは多様化・高度化している状況の中で地域の医療・福祉・介護の連携を推進することは重要であると考えます。</p> <p>現在、市内開業医と連携をとりながら地域医療の中核として地域住民に医療を提供しております。</p> <p>救急医療体制については、設備の充実した他医療機関との地域医療連携を図りながら、西諸広域消防や医療機関、行政とが連携を強め、救急医療体制の整備を引き続き図りたいと考えます。</p> <p>また、市立病院の施設や設備の老朽化の問題がありますが、今後においても良質な医療を提供できるよう、計画的な設備の整備・更新を進めたいと考えています。</p> <p>ご指摘いただいたことを参考にし、地域医療の拠点としての立場を明確にした表現に改めたいと考えます。</p>

<p>②ハード面では、えびの市立病院は、改築後やがて40年近くなろうとしています。その改築や施設整備の整備充実を図り、地域における中核的医療サービスの拠点の役割を果たすべきだと考えますが、それについてはどうなっているのですか。きちんとした方針を市民に示し、安心できる体制の整備を図ってください。</p> <p>③ソフト面でも開業医の高齢化、後継者難などから不安要因が聞こえています。まち医者と中核的な公立病院との医療連携体制の充実を図ることや市民一人一人に診療カードを持たせ、いつでもどの医療施設でもその個人の医療データが見られ、すぐに適切な医療が施せるようなシステムの導入など先進事例に倣った対策が必要なではありませんか。そうした対策が全く触れられていません。</p>	
<p>④また特に国民健康保険などの医療費軽減対策のために、特定検診などを進めています。えびの市では他市に比べて非常に検診率が低い状況にあります。市民の健康を守る体制が極めて弱い状況にあります。そうした課題認識と対策についても全く触れられていません。どうしたのですか。</p> <p>※以上のような観点から、基本構想及び基本計画について、再検討をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。</p>	<p>特定健診の重要性や課題等については十分認識しているところでありますので、それらについて「現状と課題」に加筆いたします。</p> <p>なお、対策（主要施策・主要事業）については、各「施策」の中で位置付けておりますので、毎年度の事業で具体化していく予定としております。</p>